

びっく  
あつが

## 父親の産後うつ等に特化した外来が 信大病院で全国初とみられる開設

■問合せ＝信州大学医学部 周産期のこころの医学講座  
事務局 Tel0263・37・2638

周産期のこころの医学講座ホームページ→



本誌コラム「周産期のこころのこと」でおなじみの信州大学医学部の村上寛医師が、父親の産後うつなどを専門に取り扱う「周産期の父親の外来」を開設し、1月19日から毎週金曜日に完全予約制で、同院外来において診療を開始しました。男性を対象とした専門外来の設置は、おそらく全国でも初めての取り組みということです。

今年で4年目を迎える「信州大学医学部 周産期のこころの医学講座(伊藤雅俊記念講座)」で、妊産婦さんや産後のママなどのメンタルヘルスのケアを行ってきた村上先生。その活動の中で先生は、社会の変化や「産後パパ育休制度」等の法改正などもあって、以前より父親の育児参加の機会が増え、子育てにおける父親の重要性が高まる昨今、妊産婦さんだけでなく、実はパートナーである男性の中にも、職場から育児への急な環境変化に対応できず、うつ状態になる方がいらっしゃることもあり、父親側の心のケアも必要と痛感したそう。その思いが、育児中などに精神面での不調を抱える男性を適切な治療や支援につなげることを目的とした、父親向けの外来開設へと至りました。

「これまでの妊産婦さんを対象とした周産期のこころの外来を土台とし、父親対象の外来を開設することで、今後さらに、お父さんとお母さんが、共に十分なメンタルヘルスサポートを受けられる松本地域を目指してまいります」と村上寛先生。

診察を希望される方は、電話(精神科外来Tel0263・37・8246、平日15時～17時)でご予約を。

